

一般社団法人 DESIGN KYOTO

梅小路公園 まちなか自然ラボ 事業

事業目的・概要

梅小路公園をフィールドとした自然に触れて自然を学ぶ各種のワークショップを実施することで、自然に対する理解を深める。また、親子を中心とした近隣住民が主体的に企画・運営することで、公共空間を主体的にケアする必要があるという本来的な公共への意識醸成を目指す。

今後の予定・次年度以降の事業展開

参加しやすい体験型プログラムをさらに充実させ、近隣住民の主体的な参加とコアメンバーの育成を進める。また、近隣ホテルや事業者とも連携を進め、関わる人を広げていきたい。梅小路公園を起点に自然理解を深め、亀岡・南丹など里山へと広げる循環体験を展開し、行動変容につながる学びを継続しながら持続可能な体制を構築する。

事業成果

梅小路公園で開催された循環フェス・グリーンフェアに出展し、ヨシや真菰など京都のものづくり副資材を活用したワークショップを実施。植物の生態系での役割や循環の仕組みを伝え、親子や近隣住民を中心に約30名が参加した。参加をきっかけに、土中環境改善ワークショップへの参加増加にもつながり、梅小路公園という身近な自然を再認識する機会となり、環境意識の醸成にもなった。

具体的な課題やつながりたい団体イメージ

都市公園の自然再生の価値を広く共有する発信力が課題。学校、子ども団体、自治会、企業研修、環境NPOなどと連携し、多世代参加型の学びと実践の循環モデルを構築したい。

